

I 消防技術及び消防団員等の資質向上を図るための事業 (公益目的事業1)

消防団員等が火災や災害から地域住民を守り、安全安心な地域社会を作り上げるために必要とされる消防技術の向上、消防の団結強化、士気の高揚を図ることを目的に以下の事業を実施した。

1 消防操法訓練大会事業

(1) 北海道消防操法訓練大会

消防団員の消防操法技能の向上と士気の高揚を図り、消防活動の充実強化を促進するため、北海道と共催で実施し、出場隊に対する支援を行った。

実施日	平成30年7月20日(金)
実施場所	北海道消防学校屋外訓練場
実施種目	ポンプ車操法
出場団	13団
参加人員	約1,000名

(2) 第26回全国消防操法大会

全国消防操法大会に出場した消防団に対し助成金を交付し支援を行った。

実施日	平成30年10月19日(金)
実施場所	富山県広域消防防災センター(富山県富山市)
出場隊	美幌消防団(北海道消防操法訓練大会優勝隊)
結果等	団体表彰:敢闘賞

2 消防研修事業

(1) 消防団員指導員研修

各地域における消防力の強化を目的とし、北海道(消防学校)の協力を得て消防団員指導員研修会を開催し、消防団員の指導者を養成した。

実施日	平成30年10月2日(火)~4日(木)
実施場所	北海道消防学校
参加人員	30名

(2) 講習会の開催、助成及び講師派遣

① 消防団員現地教育訓練

消防団員の資質向上を図るため、北海道(消防学校)と関係機関及び消防本部の協力を得て、消防団員に対する現地教育訓練を実施した。

実施箇所	12箇所
------	------

② 「新時代に対応した消防団運営のあり方に関する講座」の開催

日本消防協会及び総務省消防庁と連携し、団員数の減少・高齢化等の諸問題に対応するための研修会を開催し、消防団の充実強化を図った。

実施日	平成31年1月29日
実施場所	旭川市(上川地方支部)
参加人員	50名

③ 消防職員の研修

防災指導の強化及び円滑な消防行政の推進を図るため、全国消防長会北海道支部が実施する消防職員の研修に対し支援を行った。

また、災害時における人命救助技術の向上を図るため、全国消防協会北海道地区支部が実施する消防職員に対する救助技術の訓練と指導に対し支援を行った。

④ 女性防火クラブ員の研修

女性防火クラブ員の資質の向上と活動能力等の向上を図るため、研修会を実施した。(詳細は公益目的事業Ⅱに記載)

⑤ 各種研修会への講師の派遣

北海道(消防学校)及び各地方支部等が主催する消防団員研修会へ講師を派遣し、消防団の現状等の説明を行うとともに、消防団員の資質の向上を図った。

(3) 日本消防協会等が主催する研修会等への参加費の助成

日本消防協会等が主催する研修会等に参加する消防団員等に対し参加経費の助成を行い、研修を通じた消防団員等の資質の向上と活動能力の向上を図った。

Ⅱ 防火意識の向上と思想普及のための各種啓発活動を行う事業 (公益目的事業2)

防火防災意識の向上と防火防災思想の普及促進を図り、消防団等の士気の高揚と団結強化を推進するため、以下の事業を実施した。

1 消防大会事業

(1) 北海道消防大会

第70回北海道消防大会を石狩市において開催し、当協会の各種表彰及び日本消防協会の表彰披露並びに自治体消防70周年を記念した基調講演を行い、団結の強化と士気の高揚、防火防災意識の向上を図った。

実施日 平成30年8月31日(金)

実施場所 石狩市多目的スポーツ施設「サンビレッジいしかり」

参加人員 2,232名

記念講演 「北海道の災害と防災対応」

みずみどり空間研究所 主宰 吉井 厚志 氏

(2) 表 彰

消防職・団員の士気の高揚を図るため、優良消防機関の表彰並びに優良消防職・団員の功績(功労)及び勤続表彰を行うとともに、消防に関する理解と協力を高め、もって一般住民の防災意識の高揚を図るため、火災予防住民組織である女性(婦人)防火クラブ、幼年・少年消防クラブ及び消防業務の運営に貢献のあった民間協力団体等に対し表彰、感謝状の贈呈を行った。

【定例表彰】

① 消防団表彰(4団)

- ・ 表彰旗 南空知消防組合南幌消防団
北見地区消防組合留辺蘂消防団
稚内地区消防事務組合稚内消防団
- ・ 竿頭綬 大 樹 消 防 団

② 消防職・団員表彰(2,887名)

- ・ 栄光章 2名
北後志消防組合古平消防団 団長 高 野 俊 和
北留萌消防組合遠別町消防団 団長 高 橋 豊
- ・ 功績章 312名
- ・ 特別功績章 230名
- ・ 勤続章 2,343名

③ 優良消防関係団体表彰(13団体)

- ・ 幼少年消防クラブ(12クラブ)
札幌北区少年消防クラブ協議会(札幌市)
伏古本町ひまわり少年消防クラブ(札幌市)
石狩市厚田少年消防クラブ(石狩市)
石狩市花川北陽認定こども園幼年消防クラブ(石狩市)

認定こども園 当別夢の国幼稚園幼年消防クラブ（当別町）
すくすく保育所幼年消防クラブ（新篠津村）
美唄市立進徳保育園幼年消防クラブ（美唄市）
美唄市立茶志内双葉保育園幼年消防クラブ（美唄市）
美唄市立峰延保育所幼年消防クラブ（美唄市）
めむろかしわ保育園幼年消防クラブ（芽室町）
めむろてつなん保育所幼年消防クラブ（芽室町）
上美生保育所幼年消防クラブ（芽室町）

- ・ 自衛消防隊（1隊）
札幌地下街共同防火・防災管理協議会（札幌市）

④ 個人感謝状

- ・ 本会退任役員 26名
- ・ 永年勤続（35年以上）職団員夫人 306名

※ 退任役員感謝状は、その他目的事業において支出しています。

(3) 全国女性消防団員活性化大会

全国の女性消防団員との相互交流を図るとともに、各地域における活動状況の報告等を通し、消防団の活動を活性化させ地域防災の充実強化を図るため、第24回全国女性消防団員活性化滋賀大会へ参加した。

実施日	平成30年11月9日（金）～10日（土）
実施場所	滋賀県立体育館「ウカルちゃんアリーナ」（滋賀県大津市）
参加者	3,655名
うち北海道参加者	50名

2 消防殉職者慰霊祭事業

北海道殉難消防員慰霊祭

殉難消防員慰霊祭を6月に札幌市において開催し、火災や災害等の活動により職に殉じた消防団員、消防職員又は防火防災活動に協力して死亡した一般の人々の功績を称え、その遺徳を偲ぶとともに、防火防災意識の高揚と消防活動で再び死亡事故を起こさないための意識の啓発を図った。

実施日	平成30年6月29日（金）
実施場所	京王プラザホテル札幌
参列人員	約200名

3 防火啓発、災害支援の推進、消防設備の充実強化事業

(1) 防火啓発事業

① 防火DVD等の活用促進

火災予防思想の普及啓発のため、防火DVD・ビデオの無料貸出を行った。

延べ 48ヶ所 101枚

② 着ぐるみ等防火啓発物品の貸出

各地域で行われる防火行事等へ着ぐるみ等の防火啓発物品を貸出し、地域住民の防火意識向上に向けた啓発活動に対し支援を行った。

延べ 63ヶ所へ貸出し

- ③ 少年婦人（女性）防火協議会育成強化対策事業
- ・ 女性防火クラブ地区大会の開催
女性防火クラブ胆振地区大会を10月5日、伊達市において開催し、民間防火組織の育成強化と防火思想の普及啓発を図った。
参加者 女性防火クラブ関係者等97名
- ④ 女性防火クラブ連絡協議会育成強化事業
- ・ 総会、理事会の開催
北海道女性防火クラブ連絡協議会の理事会及び総会を下記により開催した。
理事会：平成30年11月15日（木）
総会：平成30年11月15日（木）
参加者 女性防火クラブ指導者等140名
 - ・ 全道女性防火クラブ指導者研修会
全道女性防火クラブ指導者研修会を11月15日、札幌市において開催し、クラブ指導員の防火意識と資質の向上を図った。
参加者 女性防火クラブ指導者等140名
 - ・ 各種研修会への参加
全道の女性防火クラブ員を、日本防火・防災協会等が主催する各種研修会に参加させ資質の向上を図った。
 - ・ 女性パワーと地域防災力を語る集い（日本防火・防災協会）
実施日 平成30年10月4日（木）
実施場所 東京都
参加者 女性防火クラブ員3名
 - ・ 「北の安心だより」の発行
「北の安心だより」を4,000部発行し、全道女性防火クラブ員へ配布してクラブ員の防災意識の向上を図った。
- ④ 「防火・防災」に関する作品コンクール
- 若年層の防火意識の向上と併せ、消防団に対する興味を持たせることにより、将来的な団員の確保に資することを目的に、北海道と共催で全道の小中学生を対象とした、「防火・防災」に関する作品コンクールを実施した。

【北海道消防協会賞】

(作文小学生の部)	新得町立屈足南小学校	5年	酒井	紅依乃
(作文中学生の部)	該当なし			
(絵画小学生の部)	下川町立下川小学校	6年	神野	瑞稀
(絵画中学生の部)	当麻町立当麻中学校	3年	徳島	あも

【北海道少年婦人（女性）防火協議会長賞】

(作文小学生の部)	遠別町立遠別小学校	4年	阿部	朱里
(作文中学生の部)	該当なし			
(絵画小学生の部)	中川町立中央小学校	5年	白田	愛生
(絵画中学生の部)	室蘭市立室蘭西中学校	2年	増田	陽月

⑥ 消防団PRパネル展の開催

北海道と共催で消防団PRパネル展を道内3地区で開催し、消防団をPRし消防団員増加に対する意識付けを行ったほか、防災パネル展を掲示し一般住民に対する防火啓発を行った。

5月28日(月)～5月30日(水)	札幌市
8月5日(日)	様似町
2月2日(土)	北見市

⑦ 防火ポスターの配布

火災予防運動にあたり、全日本消防人共済会機関並びに一般住民へ配布し、防火意識の向上と防火普及啓発を図った。

⑧ 北海道消防団応援プロジェクトの推進

消防団や団員への支援を通じ消防団活動の活性化に資するため、北海道と連携し、道内を挙げて消防団を応援する「北海道消防団応援プロジェクト」の推進に取り組み、消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図った

・ 消防団応援の店事業

北海道と連携し、飲食店等の事業所の協力を得て消防団員に対する商品価格の割引等のサービスの提供を通じ、消防団員の活動の支援を行った。

【消防団応援の店の登録状況】 63市町村 379事業所
(平成31年3月31日現在)

・ 災害支援事業

大規模災害等が発生した際に、長期間にわたり災害対応活動、復旧活動等に従事した消防団に対して災害対策支援金を交付した。

平成30年7月豪雨災害	14消防団	250,000円
北海道胆振東部地震	15消防団	1,010,000円

4 北海道消防新聞事業

北海道消防新聞を毎月発行し、会員及び消防関係機関並びに一般住民へ配布し、防火意識の向上と防火普及啓発を図るとともに、消防職団員に対する消防に関する情報の提供を行った。

5 消防に関する調査研究事業

・ 消防団員数等調査

消防団員数等の調査を行い、消防団員確保対策等の研究にあてた。

Ⅲ その他の事業（相互扶助事業） （その他事業）

1 消防互助事業

（1）相互扶助事業

消防団員及び消防職員の福利厚生事業として見舞金の給付等を行った。

香典	39件	3,900,000円
供花	32件	391,040円
弔電	27件	13,904円
罹災見舞金	3件	80,000円
傷痍見舞金	3件	25,000円

（2）本会役員等に対する顕彰事業

本会役員を退任された26名の方々に対し楯を贈り顕彰した。

（3）消防殉職者遺族会事業

北海道消防殉職者遺族会の運営を援助するとともに、遺族交流会の開催、会報の発行（300部）などを通じ遺族の福祉増進を図った。

2 消防団加入促進事業

消防団員の減少傾向に歯止めをかけ、活動をより活性化させるため、消防団が実施する地域の実情に即した取り組みに対し支援を行った。

（1）消防団活性化対策事業

全道各地で消防団が実施する地域の実情に即した消防団の活性化に向けた取り組みを推進するため、消防団活性化対策交付金を交付した。

- ・イベントの開催、広報用グッズの作成、広報紙・パンフレットの作成等
- ・交付額 11,356,500円（H29.10定数37,855名×300円）

3 地方支部推進事業

（1）地方支部交付金

地方支部交付金を交付し、地方支部が実施する事業の円滑かつ積極的な推進を図った。

- ・交付額 1,970,880円（加入者数24,636名×80円）

（2）地方支部事務局長会議

地方支部事務局長会議を札幌市において開催し、本会と各地方支部との連携強化を図った。

開催日：平成30年 6月1日（金） 参加者：14地方支部 16名

（3）研修会等への出席

各地方支部が行う研修会等へ出席し、本会事業の説明を行い本会事業に対する周知を行った。

4 日本消防協会が実施する共済事業等

日本消防協会との連携を緊密化し、関連事業の効果的な推進に努めた。

IV 会議の開催等

1 北海道消防協会役員等会議

(1) 正副会長会議

6月7日、6月29日、7月20日、3月15日

(2) 理事会・評議員会

① 平成30年度第1回定例理事会 平成30年6月 7日 (木)

② 平成30年度定時評議員会 平成30年6月29日 (金)

③ 平成30年度第1回臨時理事会 //

④ 平成30年度第2回定例理事会 平成30年3月15日 (金)

⑤ 平成30年度第1回臨時評議員会 //

(3) 地方支部長会議

7月20日、3月15日

2 日本消防協会役員等会議

(1) 日本消防協会正副会長会議

6月14日、7月13日、9月12日、3月4日 平井会長出席

(2) 日本消防会館改築（建設）委員会

5月23日、6月14日、9月12日、12月6日、2月6日 平井会長出席

(3) 消防団員確保対策委員会

3月4日 平井会長出席

(4) 日本消防協会理事会

6月15日、9月13日、3月5日 平井会長、能任副会長出席

(5) 福祉共済事業等運営委員会

5月17日 櫻橋副会長出席、2月20日 能任副会長出席

(6) 全日本消防人共済会理事会

6月15日、9月12日、3月4日 平井会長出席

(7) 日本消防協会評議員会・全日本消防人共済会総代会

6月15日 平井会長、櫻橋副会長、長門副会長、富居副会長、丸山副会長出席

3月 6日 平井会長、能任副会長、武山副会長、坂口副会長、有賀副会長
本間副会長出席

(8) 都道府県消防協会事務局長会議

2月26日 事務局員出席